

令和元年度沖縄県教育委員会指定研究報告会（中間）

研究主題 観点を明確にした評価の工夫 ～評価の手引きの作成と活用を通して～

新学習指導要領では、カリキュラム・マネジメントを通して教育活動の質の向上を図ることが提言されています。そのカリキュラム・マネジメントの中核を担う存在として「評価」が注目されてきています。

本校では、その「評価」に係る課題として、観点別評価の技能面に偏りがあることや、教育活動に活かす評価にするための工夫が必要であることの2点があげられました。そこで、観点を明確にした評価（教育活動に活かすための評価）を実現するために、本校独自の「評価の手引き（案）」、「学習指導案様式」及び「評価記録様式」の作成を行い、理論研究、実践研究に取り組んでまいりました。児童生徒の資質・能力を総合的に育むための評価の工夫の実現に向けての取り組みを報告いたします。Let's learn together !!

1 期 日 令和2年1月31日（金）

2 会 場 沖縄県立宮古特別支援学校

3 指導主事 県教育庁県立学校教育課 特別支援教育室 指導主事 前川 考治
総合教育センター 特別支援教育班 主任研究主事 下地 直子

4 日 程

| 時間 | 報告会 | 内容 | 場所 |
|-----------------------------------|--|--|------|
| 12:30～13:00 | 受付 | | 玄関 |
| 13:00～14:00 ○児童生徒は 13:30 下校 | I 全体研究報告 1 校長あいさつ 2 報告会【研究部】(55分) | 【報告会】 (1) 研究の目的、概要 (2) 「手引き」(案)の説明 | 視聴覚室 |
| 14:10～15:50 | II 実践報告（質疑応答含む） 1 小学部（15分） 2 中学部（15分） 3 高等部（15分） 4 寄宿舎（15分） 5 全体の成果と課題（10分） 休憩（10分） 6 質疑応答（20分） | 【実践報告会】 2学期に取り組んだ単元の実践報告を、動画等を交えて学部別に行います。その際、評価をどのように活用したのか（成果）、どのように活用すべきだったのか（課題）に焦点を当てた発表となります。 | 体育館 |
| 16:00～16:40 ※終了後アンケート記入 | III 指導主事助言 1 指導主事助言（40分） (2 アンケート記入 5分) | 【指導主事助言】 指導主事2名による研究に関する指導助言が行われます。 | 体育館 |